

未来を拓くISHIがある



新年度が始まりました。なにかと不安の残るスタートとなりましたが、めげることなく頑張りました。困難は私たちの周りに常にあるものです。あるべき姿を見失うことのない信念を持ちましょう。未来は誰にでも公平です。しかし、すぐそこに輝かしい未来が約束されています。私たちに未来を拓くishiがあります。



カシオペアフレンズ 最終回

先日、3月28日の放送をもって、「カシオペアフレンズ」が最終回となった。2006年1月から放送を始め、毎週土曜日15年、最終回は741回目だった。相方のモーリーと共にゲストを迎えてのトーク番組だったが、我ながらよく続けられたと思う。

ゲストには地域で活躍している方など延べ500人以上の人に出演していただき、2008年に水谷豊さん、2012年には宇崎竜童さんなど出演していただき、素晴らしいお人柄に触れることができた。

しんどかったのは毎週のゲスト探し、一週間はあっという間でホント大変だったが、やはり全くなくなるのも寂しく思い、週刊から月刊として月一回は続けることとなった。4月からは月1回第4週の日曜日の放送になった。

今後は毎週のゲスト探しのストレスから解放され少し楽になる。さて、その空いた時間今度は何をやるかなあ～～!! (笑)



※「カシオペアフレンズ」は二戸エリアで放送しているカシオペアFMの番組。FMのホームページから放送済みの番組は聴くことができます。

見えない敵



高校時代は、ばんからと称して随分不潔にしていた。部室には先輩の形見の運動着が置いてあり、体育の時間に拝借し重宝していた。

洗濯もせず、日干しもせず棚の奥へ放り込んでおくものだから、次に着るときは手に取った瞬間ジトとした感触とカビ臭さをわかりつつ頓着せずに拝借した。

案の定、3年生の夏に白癬菌に股間が侵されてしまった。四六時中とにかく痒い。まわりには何人か同様の辛苦を経験した輩がいたようである。病院で看護婦さんに治療される光景を想像するとおぞましくなり、人知れず風呂に入り、オロナインをぬっていたら程なく治ってしまった。白癬菌はカビである。カビや細菌は自己増殖できるが、ウィルスは他生物の細胞を借りて自己複製をするらしい。細胞に寄生しているのでウィルスを直接退治する薬は数少ないとのことである。白癬菌にオロナインという、のどかな話ではない。小さくて見えないし、色がつくとか臭いがすることもない。どこにいるかもわからない。不潔が一番の敵かもしれない。

佐藤公一さん退職

福田運送の佐藤公一さんが3月末をもって退職しました。1990年に入社以来、30年の長きにわたり福田運送の実務を取り仕切り、現在の礎を築いていただきました。大きな財産を元手にさらなる前進を期したいと思います。これからもあたたかく見守ってください。30年間お疲れさまでした。



～嘘を考える～



いつからなのか4月1日はエイプリルフールである。

嘘にもいろいろある。他愛ない嘘、悪意のある嘘、やむにやまれぬ嘘、よく見ると世の中には嘘が多いものだと感じる。白いものを黒だと言うと嘘になる。白かもしれないし、黒かもしれないなどとぼかされると本当は矛盾を感じていることでも納得してしまう。日本人の先天的忖度力が働くのかもしれない。クレタ人曰く「すべてのクレタ人は嘘つきである」という有名な自己矛盾命題がある。すべてのクレタ人が嘘つきならば、クレタ人が言った「すべてのクレタ人は嘘つきである」ということは嘘でなければならぬ。つまりクレタ人は嘘つきではないことになる。この命題はどこまで行ってもクレタ人が嘘つきなのか、嘘つきではないのか判然としない。現実社会にも数理や論理では解決できない事象が発生してしまう。自分の嘘や矛盾の許容限度をエイプリルフールに考えてみた。

編集後記

さて、新年度のスタートです。どんなことがあっても始まるものは始まりますね。今は仕事ができる環境であることに感謝しています。そんな中・我社に20年以上ぶりに女子従業員が入社しました！来月号でご紹介いたします！お楽しみに！